

羽村市議会議員

会派：新緑会

高田かずと



羽村市長選挙では前議長の橋本弘山氏が当選し、新しい市長が誕生しました。市議会では会派の再編成があり、私は濱中俊男議員、梶正明議員、補欠選挙で当選した櫻沢康議員との4名で新緑会を結成し、代表に就任しました。

さかのぼって、令和3年第1回羽村市議会臨時会は1月26日に開催され、羽村市自然休暇村の廃止が決定するなど2件の議案が審議されました。

第2回羽村市議会は定例会として2月24日～3月18日に開催されました。3月議会は一般質問(3日間)、市長提出議案、令和3年度の予算審査(3日間)、令和2年度の補正予算審査、陳情3件の審議などが行なわれました。

本会議審議：(2月24日～3月18日)

区分	委員会	番号	案 件 名	採択・賛否等	
				会派	全体
臨時会		1号	令和2年度羽村市一般会計補正予算(第10号)	賛成	修正可決
		2号	羽村市自然休暇村清里及び羽村市自然休暇村ハケ岳少年自然の家の指定管理者の指定について	賛成	否決
市長提出議案	予算審査付託	3号	令和2年度羽村市一般会計補正予算(第11号)[令和3年2月2日専決]	承認	承認
		4号～10号	令和3年度羽村市一般会計予算・国民健康保険事業会計予算・後期高齢者医療会計予算・介護保険事業会計予算、西口土地区画整理事業会計予算・水道事業会計予算・下水道事業会計予算	賛成	可決
		11号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	賛成	可決
		12号	羽村市長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		13号～17号	介護保険・介護予防関連の条例の一部改正(詳細はブログ参照)	賛成	可決
		18号	羽村市企業誘致促進に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		19号	羽村市立公園条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		20号	羽村市自然休暇村条例及び羽村市自然休暇村少年自然の家条例を廃止する条例	賛成	可決
		21号～27号	令和2年度羽村市一般会計補正予算(第12号)、国民健康保険事業会計(第4号)・後期高齢者医療会計(第3号)・介護保険事業会計(第4号)・西口土地区画整理事業会計予算(第2号)・水道事業会計予算(第2号)・下水道事業会計予算(第2号)	賛成	可決
		28号	羽村市防災行政無線(固定系)デジタル化整備工事(令和2年度～令和3年度工事分)請負契約について	賛成	可決
		29号	監査委員の選任について	同意	同意
		30号	羽村市国民健康保険条例及び羽村市介護保険条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		31号	令和2年度羽村市一般会計補正予算(第13号)	賛成	可決
		32号	損害賠償額の決定について	賛成	可決
		33号	損害賠償額の決定について	賛成	可決
		34号	令和3年度羽村市一般会計予算会計補正予算(第1号)	賛成	可決
委員会提出議案		1号	羽村市議会委員会条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		2号	羽村市議会会議規則の一部を改正する規則	賛成	可決
陳情	総務付託	1号	「公文書隠蔽」疑惑の解明を求める陳情書	不採択	不採択
		2号	核兵器禁止条約の署名、批准を日本政府に要請する意見書提出に関する陳情書	趣旨採択	趣旨採択
	厚生付託	3号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出に関する陳情書	不採択	不採択

←一般質問(2021.2.24 11:39~ 13:05~)▶

詳細はブログ参照

1. コロナ差別禁止条例について

要旨 新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者や医療従事者、帰国者や外国人等に対して、不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷等があってはならない。相談窓口を充実させるとともに、市でも独自に「コロナ差別禁止条例」を制定すべきと考え、質問する。

質問 相談窓口の充実について、新型コロナウイルス感染症に関連して、保健センターに寄せられた相談や苦情などは何件あったか。そのうち、何件が誹謗中傷等の相談だったのか。

市長 保健センターには、令和2年2月から本年2月19日までの間、新型コロナウイルス感染症に関する相談が654件寄せられている。その主な内容は発熱などの症状や受診に関する健康相談が約35%、感染症者数等の感染状況に関するお問い合わせが約25%、PCR検査等に関する相談が約12%、その他の内容に関する相談が約28%となっている。誹謗中傷等に関する具体的な相談はなかった。

質問 コロナ差別禁止条例について、東京都では「新型コロナウイルス感染症対策条例」が昨年4月に施行され都道府県では最初に制定された。市でも独自に「コロナ差別条例」の制定を検討すべきと考えるが、いかがか。

市長 東京都が制定した条例の第4条第3項において、都民及び事業者の責務として新型コロナウイルス感染症に罹患していることなどを理由とする不当な差別的取扱いを禁止している。この東京都条例は羽村市民及び市内事業者にも適用となるものであり、市として独自に条例を制定することは考えていないが、今後も新型コロナウイルス感染症に関する差別防止については引き続き、より一層の普及啓発に努めていく。

2. 平常時と災害時のトイレについて

要旨 平常時の主に学校のトイレ、平常時・災害時両用のトイレ、災害時のトイレについて質問する。特に、災害時の下水道の機能に支障が発生している場合、トイレトレーラーについても問う。

質問 平常時のトイレについて、文部科学省が2020年9月30日に公表した「公立学校施設のトイレの状況について」によると公立小中学校の全便器数は約136万個で洋式便器率は57.0%である。東京都の全便器数は約11万個で洋式便器率は71.1%である。市の公立小中学校の全便器数と洋式便器率を問う。

教育長 令和3年2月末現在、校舎・体育館・外トイレを含め、小学校で便器数406個・洋式便器率56.7%、中学校で便器数201個・洋式便器率49.8%、小中学校全体では便器数は607個・洋式便器率は54.4%となっている。今後も計画的に改修工事を進め洋式化を図る。

質問 学校のトイレに関する自治体アンケートによると、感染症対策として非接触の自動水栓の希望が74%あった。市における自動水栓の現状と今後の方針を問う。

教育長 武蔵野小学校では平成13年~14年にかけて校舎全体のトイレを自動水栓とした。平成30年度から令和2年度にかけて富士見小学校の校舎全体のトイレを自動水栓にするなど、今後もトイレ改修工事にあわせ自動水栓化を進めていく。

質問 平常時・災害時両用のトイレについて、平常時は水洗トイレとして使用し、災害時に水洗式トイレが使用できない場合は、汲取り式トイレに切替えられるトイレの導入を検討したらどうか。

市長 平常時・災害時両用トイレについても情報収集など研究に努めていく。



マンホールトイレ
(国土交通省ウェブサイトより)

質問 災害時のトイレについて、内閣府の「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」、国土交通省の「マンホールトイレの整備・運用のためのガイドライン」と「市の災害用備蓄状況」とで、用語の違いがある。統一すべきと考えるが、いかがか。

市長 今後、国の防災基本計画や市の地域防災計画を踏まえ、用語を統一するよう整理していく。

質問 マンホールトイレには「本管直結型」「流下型」「貯留型」があり、市の備蓄はすべて「貯留型」を採用しているが、「貯留型」のメリット、デメリットは何か。

市長 貯留型のマンホールトイレは、下水道本管のマンホール上部に設置する「本管直結型」及び、下水道本管に接続する排水管の上部に設置する「流下型」と比べ、下水道本管が被災した場合でも一定量の排泄物を貯留し使用できることがメリットであり、下水道本管が被災せず通常に使用できる場合には下水道本管へ流すこともできるなどデメリットはないものと捉えている。

質問 羽村市地域防災計画(平成28年修正)には「下水道の機能に支障が発生している場合には、事業所・家庭における備蓄(簡易トイレ等)を活用する」と記載されている。市民が下水道の機能に支障が発生しているかどうかを知る方法を問う。家庭などで水洗トイレを使用しないとの周知は困難と考えるが、いかがか。

市長 大地震などの災害が発生した際に、市では市内の下水道施設を点検し、被害状況を調査するとともに、東京都下水道局多摩川上流水再生センターや八王子水再生センターなどに対し下水処理施設や流域下水道の本管施設などの被害状況について確認し、万が一、下水道施設に被害が生じ、トイレが使用できない場合には、防災行政無線・市公式サイト・メール配信サービス・広報車両等を活用し、市民の皆様へお知らせしていく。

質問 簡易トイレ等を備蓄している家庭は少数と考えるが、いかがか。

市長 市では、災害時における各家庭での備蓄品として、簡易トイレも必要であることを市公式サイト・町内会回覧・全戸配布を行った東京防災などを活用して広く市民の皆様呼びかけており、引き続き、各家庭での簡易トイレの備蓄が進むように積極的な周知・啓発に努めていく。

質問 トイレトレーラーについては、昨年3月議会の市長答弁で研究するとのことであったが、研究した結果を改めて問う。また、市との災害協定先で所有する自治体はないかを問う。

市長 トイレトレーラーは、羽村市の姉妹都市である山梨県北杜市では、令和2年9月にトイレトレーラー1台を導入しており、羽村市が被災し、必要な場合には「災害相互応援協定」に基づき、派遣いただけることとなっている。



北杜市のトイレトレーラー



羽村・瑞穂地区学校給食センター



羽村・瑞穂地区第2学校給食センター

3. 学校給食費などの公会計化について

要旨 文部科学省が学校給食などを地方公共団体の会計に組み入れる「公会計化」の採用を促進しており、質問する。

質問 学校給食費に公会計を導入することで、学校給食費の過年度分の不納欠損や現年度分の収入未済に大きな改善効果が見込まれると考えられるが、いかがか。

教育長 文部科学省が公表した「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」では、学校給食費の徴収・管理業務を地方公共団体に集約することで、当業務の効率化を図ることが可能になる。

高田和登の活動記録

議員活動

1. 22	議会運営委員会
1. 26	議員全員協議会・臨時会
2. 5	一般質問受付開始・議員全員協議会(長計実施計画・令和3年度予算案説明)・議員全員協議会(議長辞職に伴う対応協議)
2. 8	東京都市議会議員研修会(ソサエティ5.0) 東京都副知事 宮坂学(DVD)
2. 10	陳情調整会議
2. 15	議会運営委員会
2. 18	学校給食組合議会【一般質問】
2. 22	西多摩広域行政圏協議会審議会
2. 24	本会議(初日)【一般質問】
2. 26	本会議(2日目)
3. 2	本会議(3日目)
3. 3	予算審査特別委員会(補正予算)
3. 4	本会議(4日目)・基地対策特別委員会
3. 5	厚生委員会(傍聴)
3. 8	総務委員会【委員長】(陳情審議2件)・議会運営委員会
3. 9	予算審査特別委員会(1日目)
3. 10	予算審査特別委員会(2日目)
3. 11	予算審査特別委員会(3日目)
3. 15	議会運営委員会(追加議案)
3. 18	本会議(最終日)・議会運営委員会・議員全員協議会

地域活動など

1月

◆1.1金刀比羅神社元旦祭◆1.6映画「奪われた村」豊田直巳講演会・写真展◆1.9第3回歩き方教室(村神一誠)◆1.15西小展覧会◆1.17千葉真子講演会(リモート)◆1.20公園清掃◆1.27献血(カインズホーム)◆1.28福生青年会議所新年賀詞交歓会(リモート)◆1.30日本防災士会研修「ペット避難」(リモート)◆1.31金刀比羅神社賽銭当番

2月

◆2.10防災トイレフォーラム2020(リモート)◆2.12都民寄席(三遊亭小遊三など)◆2.13やさしい日本語講座◆2.23吉川真講演会(1-チューブ)◆2.27舘野鴻作品展

3月

◆3.2東京大空襲資料展◆3.13国際理解講座 横浜市大吉田栄一教授◆3.14福生青年会議所主催 市長選挙公開討論会◆3.14やさしい歌舞伎公演◆3.20ウズベキスタン民族舞踊◆3.23ツイッター講習会(リモート)

【ひとこと】—新奥多摩街道の横断歩道—

新奥多摩街道の小作台3・4丁目に横断歩道が設置されました。私も含め、多くの方々が市役所や警察署に何回も要望していたものです。市民の皆様からは「良かった」との声をたくさんいただきました。



【ひとこと】—市長選挙と市議会—

ご存知の通り、3月28日投開票の羽村市長選挙は現職の並木心候補と前議長の橋本弘山候補が立候補しました。結果は橋本候補が10,334票、並木候補が7,566票で、橋本氏が当選しました。

市長と市議会は二代表制として、それぞれが独立した対等の機関です。相互の抑制と均衡によって緊張関係を保ちながら、羽村市の運営の基本的な方針を決定します。市議会議員の間にも、多少混乱が生じました。新しい市長のもといち早く新体制を確立し、市民の皆様のために働く市議会を作らなければなりません。

会派も再編されました。私は2年間、一人会派「つながる力」として活動してきました。今回「つながる力」を発展的に解消して、4名で「新緑会」を結成したことは冒頭に記載した通りです。



4月7日の根がらみ前水田のチューリップをフェイスブックに投稿しましたら「いいね」を沢山いただきました。ありがとうございました。

高田和登(たかだかずと) : 〒205-0001 羽村市小作台3-15-3

TEL/FAX 042-555-4700 Mobile 080-6860-1211

E-mail: takadakazuto@gmail.com hamura@takadakazuto.com

◆高田かずと公式ウェブサイト <https://www.takadakazuto.com/>

◆高田かずと公式ブログ <https://takadakazuto.blogspot.com/>



HP



blog

・この資料は複数のルートで配布しており、重複した場合の失礼をご容赦願います。